



## 6/21 村消防団員集結 平成27年度 消防団入退団式 放水競技大会

村消防団入退団式および放水競技大会が、長陽体育館、長陽庁舎駐車場で開催され、入退団式で、退団者35人、新幹部・昇格幹部60人、新入団者36人に中尾博昭団長から辞令が手渡されました。新入団員宣誓では、第12分団の大森博さん（加勢）が力強く宣誓書を読み上げられました。

退団者代表謝辞では、松岡勝也副団長が「消防団員として、災害・火災などの出動、そして近年増加している人探し、地区の行事の手伝いなど、いろいろと携わってまいりました。消防団とは、地域になくてはならない存在だと思っています」とあいさつ。

式終了後は、放水競技大会が行われ、分団ごとに機敏な動きで、クレーンで吊られた籠内のボールをめがけ、放水を繰り広げました。



退団者代表謝辞を述べる松岡勝也副団長



放水競技で玉落としを行う団員



名前を呼ばれ整列する新入団員の皆さん



放水競技大会で優勝した第12分団と消防団幹部の皆さん

## 6/23 白水ミニトマトをPR JA 阿蘇ミニトマト部会

JA 阿蘇白水ミニトマト部会（部会長 足立照晃さん 中松三）が、阿蘇地域世界農業遺産推進協会のfacebookで「白水ミニトマト」の美味しさを伝えるため後藤亜希さん（白川）のハウスで取材が行われました。これは同協会が、阿蘇の農産物を多くの人に知ってほしいということから阿蘇の市町村を回り、旬な農産物や物産館などを紹介しているもの。当日は、くまモンも訪れ、村のマスコット「かなばあちゃん」と一緒にPR活動を行い、足立部会長から白水ミニトマトの説明や、女性部によるミニトマトを使った料理の紹介もあり、串刺しで焼いたミニトマトやデザート感覚のレシピなどが紹介されました。



白水ミニトマトの  
おいしさを活かした料理



白水ミニトマトを  
PRするくまモン

## 6/22 阿蘇地域の更生保護活動の拠点へ 阿蘇地区更生保護サポートセンター開所式

特別養護老人ホーム旧みやま荘デイサービスセンター事務室（阿蘇市）に「阿蘇地区更生保護サポートセンター」が開所され、その開所式が河津修司県議会議員のほか多数の関係者が出席して行われました。

主催者あいさつで、センター長の渡邊吉保阿蘇地区保護司会会長（中松二）が、「当センターは、充実した更生保護の拠点として、安心、安全な阿蘇地域の社会作りに必要な施設になると信じています」とあいさつされました。

同センターは企画調整保護司が、保護司の処遇活動の支援や、犯罪・非行の予防活動、保護司会の事務運営など更生保護の諸活動に利用されます。



あいさつをされる渡邊吉保阿蘇地区保護司会会長

## 7/7 おいしい地下水を大切に使います 白水小学校「水の学校」

水保全をはじめとする環境問題への関心を深め、環境保全に努める態度を養うことを目的に、平成27年度「水の学校」が、白水小学校（大津昭一校長）の4年生18人を対象に実施されました。

県環境立県推進課職員が希望のあった小学校に出向き授業を行うもので、熊本県の水資源は約81%が地下水で占め、名水や湧水が豊富で「水の国」と呼ばれるほどであることなどを学習。その後子どもたちは、外国や日本各地、村内の水源の水を飲み比べ、熊本の水がきれいでおいしいことを確認し、水の生まれる里と呼ばれる南阿蘇について誇りに感じ、地下水を大切にしていこう気持ちを新たにしました。



水の飲み比べをする子どもたち

## 6/26 火の用心！ ちょうよう保育園 園内消防大会

ちょうよう保育園幼年消防クラブの園内消防大会が、多くの保護者が見守る中、同園の遊戯室で開催されました。

あいにくの雨天での開催となりましたが、年中・年長児55人が元気に参加。年中児は、防火演技「僕らはチビッコ消防隊」で、歌やダンスによる、防火を表現し、年長児の「ミニ腕用ポンプ操法」では、放水をしたあと、救急隊に扮した園児がケガ人を病院へ運びこむと、会場から大きな拍手が送られました。

大会終了後は、南部分署職員による、アトラクションの〇×クイズや消防車からの放水などが行われ、園児たちは大はしゃぎでした。



通常点検で整列し、宇都宮園長の点検を受ける園児たち

## 7/12 地域の中を力強く大人神輿 八坂神社「祇園さん祭り」

八坂神社で祇園さん祭り（「祇園さん祭り実行委員会」主催）が開催されました。

平成24年度から復活した同祭りは、大人と子どもの神輿の担い手が約90人、来場者が50人以上となり、復活以来一番人数が多く、盛大な祭りとなりました。

今年は、2基の「大人神輿」が一関地区（無田）の天神さんや、池の川水源など3カ所をねり歩きました。また、神社の境内では2基の「子ども神輿」を担いだ子どもたちも大きなかけ声とともに、境内の中を元気に駆け回りました。



一関地区の祠を回る2基の大人神輿

## 7/8 地域の中で犯罪や非行の防止を 社会を明るくする運動強調月間

7月の「社会を明るくする運動強調月間」に伴い、阿蘇地区保護司会南部分会と村女性会キャラバン隊15人の関係者らは、通学時間帯に合わせ、村内の3中学校で啓発キャンペーンを実施しました。登校する中学生へパンフレットを手渡し、犯罪や非行の防止などを呼びかけました。

この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築くために、全国的に展開されているもので、今年で65回を迎えます。



渡邊保護司会会長をはじめとするキャラバン隊の皆さんと村関係者